

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地（電話六三〇番）印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定部金貳錢 廣一五號十二行 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町三五番 印刷所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

九月五日夕刊

寄書

### 娛樂

三浦春水

（一）

娛樂といふ言葉には、何となく浮いたやうな響がある。併し同じ意味な英語に譯して見ればレクレエーションといふ言葉とホツビートといふ言葉とが用ひられるかうなると、いづれにしても人間生活に必須な問題たらざるを得ない、又何も子供や文化的に低級な人達の問題たるに止まらず、立派な人間問題といつても必ず

しも大袈裟ではあるまい。先づレクレエーションといふことから考へれば、文字の示してある通り生命の再創造であつて、人間の生命が疲れるものであり、消費せられるものである限り、これを再創造する必要は誰にでもあるのである、殊に生活が個人的にも、社会的にもより切迫なる場合にはこの必要がより多くなるわけである、生命の再創造は生理的には栄養又は或種の刺戟剤によつて行はれる、共に極めて重要な問題たるに相違ない、而もそれを積極的に行ふものが即ち娛樂である。

娛樂はこの意味に於て三つの作用を有する、第一は生活の轉換である、第二は現實感の弛緩である、第三は娛樂に於て最もよく経験し得る自己の生活の満足である、前の二つの事は改めて説明するまでもない、第三の點は今日の文明の一大特質としての人間活動の機械化といふことを、一方に於て考へれば分ることである。



美味 評判 **イウキ食堂** オの部電話四六〇番 平町細屋町（縣社通り）

櫻印が一番

よくきく

平町四丁目 **小野屋藥店** 電話一四四番

各種 體語 **関内藥局** 寒暖計 電話四〇番

喫茶部開設

貸家案内

舊城跡勤人向金八圓五十錢  
仲間町 全 金 拾圓  
全 金五圓五十錢  
全 金五圓五十錢  
全 金五圓五十錢  
全 金四圓五十錢  
白銀町商店向金貳拾圓  
旅館向金 八十圓  
應匠町勤人向金五圓五十錢  
五丁目 全 金 五圓  
内郷小島 全 八圓

**加藤營業所** 白銀町（電話三二番）

今秋流行の **鳥打帽子** 各種取揃へました

目下五 **ヤタリモ** 洋品店 三五三電

公債、兩替 債券、質商 **多田井ワカ商店** 平町大工町

大阪小林藥學博士發見 **流下藥** 定價四圓 頑固用金七圓

月やく止まり心配の方は四五ヶ月以内安心確實無害に流經する保證付（無効返金）強烈特殊薬をすぐひきなさい他藥の如く服薬でなく局部に挿入する劇しい薬です

本店 平町三丁目 分店 田町 **宇佐見藥劑士** 電話七三七番

○貧困の方には施薬す

今聚樂館に於て最終の **純民謡と新民謡の夕** 開

……お早く御來會を乞ふ……

日本一の民謡の唄手 **三島一聲氏** ソプラの聲樂家 **太田ぬい子嬢** 伴奏 **ケネデー、クワルテット** 後援 常盤毎日新聞社

花柳科専門 **木村外科醫院** 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

頭痛に即効藥 **荒川のノーション** 特約店 **大平屋藥店** 電話六四二番

市原醫院 平町田町（電話一一四番）

内科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

◇揃篇名の比無壯勇滿豐樂悅リヨ日六◇

治文小川市 江直見伏 清田澤……演主 保富田池……作原

# 八龍飛龍

子良川德 三章部南 一香木葛 郎四妻新 門陣ら  
ねを守馬對藤安に常は人義き 若士劍八 若士劍八 若士劍八 若士劍八 若士劍八

來週上映 阪妻の 關後日譚 十二卷 **レウエー** H活行進曲十五卷 石太プロ松竹提供 原作……佐々木和郎 市川右太衛門吉野露子主演 捕物さ づ な

これぞ大剣俠映畫の名を以てす龍攘虎搏の大仕掛薄幸の劍史をめぐる捕物劍俠史である

土日曜學生デー 松竹 **平館** 電話四六六

### 三島氏の美聲よ 聴衆全く陶醉す

#### 拍手鳴り止まず

#### 大好評を納めた「民謡の夕」

平町初秋の樂壇を飾る意味に於て各方面から非常な期待を以て迎へられた本社後援の三島一壽氏の「純民謡」と

### 新民謡

#### の夕べ

昨報の如く聚樂館に於て昨日午後二時半から聞く耳の進んだ各女學校生徒の爲めに演奏し白熱的の喝采を博し更に同日午後七時から一般人の爲め再開したが、日本民謡界の第一人者三島氏を聴かんとして、浴衣がけの

### 家族連

#### が定刻前

から續々と押し寄せ、二千有餘の抱擁力を有すと傳へらるる聚樂館も聴衆でギョッリに詰り、最近見ざる盛況を呈した、川崎本社長の挨拶の後、ピアノ、ヴァイオリン、セロ等に依る四重奏に依つて此の夕べの幕は開かれ、なごやかな音楽気分は

### 場内の

#### 隅々に迄

も溢れる次いで振袖姿楚楚としてみめ麗はしき太田のい子嬢が拍手に迎へられ、フットライトを満身に浴びて起ち「鉢をおさめて」や「お山のく〜尼寺に」と「椿の花」を美しいソプラノで唄ふ、素晴らしい人気である續いて場内をゆるがす拍手を浴びて長髪偉軀の

### 如何に

#### も巨匠を思

ばせる三島氏が「朝草薊り」と「鎮西小唄」を美はしきソノールで唄ひ熱狂した聴衆は共に相の手を合唱、情緒豊かな民謡は聴衆の胸に轟々迫つて恍惚とさせずにはおかない、斯くして番組は益々進み平町の生んだヴァイオリスト高本益美氏が歸省中を好機に賛助

### 出演し

#### 太田嬢のビ

アノ伴奏でヴァイオリンの獨奏「ジョセランの子守唄」をかなでその天才的才能を感嘆するの聲が場に満ちた三島氏の「佐渡おけさ」太田嬢の「城ヶ島」等に至つては正に宵夜のクライマックスを憶はせ拍手は場をゆるがして暫し鳴り止まないとかくどの

### 曲目も

#### 断然素晴

しい出来栄で、音楽の殿堂に聴衆を陶醉させ、十數曲目は午後十時頃唄ひ終つたが、三島氏最後の「馬子唄」は天下第一品と折紙がつけられてあるだけに、アンコールに次ぐに、アンコールを以て迎へられ、聴衆からの是非所望に感激した氏は續け様に「松前追分」を唄つて

### 心酔せ

#### しめ最後の

合唱「故郷はなれて」を終

### 漸く少康

#### 石城郡の米價

石城郡米は昨今漸く少康を

### 大野村の宮本氏が

#### 社會教育官に昇任

新しい「社會教育官」として

文部省に昇任する東京市視學宮本七氏は本縣石城郡大野村の出身で年四十七、明治三十八年に福島師範を卒業、縣下で小學校教員となり藏前高工教員養成所建築科に入つて四十四年卒業熊本工業大阪府職工學校教諭等をして大正十三年から東京視學をしてゐる人である

### 荒井署長

#### 叙勳七等

平警察署長荒井市太郎氏は

今左記の如く昇叙された福島縣警部 荒井市太郎 正八位勳八等 叙勳七等授瑞寶章

### 入賞六十七名

#### ボス展審査

既報平商業學校商友會主催の兩日元平商校及び藤田校にて開催される若者であるが出品點數豫想外の好成績にて昨日午後零時半から會長宅に於て出品物の審査を行

### 魚獲を中止

#### 頗る不良で

石城郡植田町小濱漁業組合

經營の小濱大敷網は脱法行為をなした其直接認可になつたので石城各濱の漁業組合が、擧げて反對をなした

### 團體事務所の陳情

#### 大成で今朝歸る

#### 平署の表二階建を貰ふ

既報郡團體事務所移轉先に關し町村長代表伏見彦衛、郡農會代表安島重三郎木炭組合代表早川清久の三氏は縣廳に出頭陳情し今曉の上り急行にて歸郷したが陳情の結果を聞くに現在の平警察署表二階建の無償交付を受け是れを元郡會議室の傍らに移轉建設すべく承諾を受け移轉費用として縣豫算に計上しある二千圓中平署移轉に要すべき千六十八圓を控除しての殘金九百卅二圓の交付を受ける様諒解を得たとの事であるから此の陳情は大成功といふべきであらう、尙ほ移轉迄には三ヶ月間の日子を要する筈で其の間は現在通り元郡會議室にて執務する事になつたといふ

### 各銀行休業

#### 縣社の祭典に

平町の開店銀行では来る七日氏神の子鏡倉神社が社殿落成大祭執行するので一せいに臨時休業すると

平町の開店銀行では来る七日氏神の子鏡倉神社が社殿落成大祭執行するので一せいに臨時休業すると

### 警城炭礦が三日付で

#### 職員級四十名を整理

#### 平署で萬一を警戒

常警地方の炭礦會社は引續く事業界不況のため消極的ながら事業の縮小を計畫し欠員の補充は絶対に避けて居るが新内閣の緊縮方針によりますます深刻な不況時代到来するとなし縮小の本舞台に於て決しまつ横綱格の警城炭礦では三日職員級四十餘名(警城炭礦十六名、休職満期千代田炭礦二十八名依願退社)の整理を發表したが他の炭礦でも近く一部の整理を断行する模

### 晩秋蠶増加

#### 相場が高

石城郡の養蠶家は初秋蠶出

荷も大體終期に近づいたので追かけ晩秋蠶の捕立に着手し一兩日中にこれも終る模様で桑の發育状況を見更に追掃を計畫中のもの多く初秋蚕は捕立後申分ない好

### 滞納の

#### 整理を断行

片端から差押

### 募集

#### 文藝其他投稿

三千九百五十八圓五十四錢を筆頭に雜種税、家屋税、収益税、税外収入の順序になつて居るなほ町當局はこの整理が一段落つき次第第四年度上半期の整理を断行せんよ、備を進めてゐる

### 兎の耳

選挙違反検査に少女まで取調へ 石川縣豊至郡縣會議員補缺選挙の違反

調へは辛味を極め一日以來毎日數十名が宇出津で取調へを受けて居るが、宇出津小學校六年生上田ひさといふ少女迄巻添へを食つて召喚され嚴重な取調へを受け結果苦痛に堪へかね其場に卒倒し歸宅後病臥して居るが其他にも同町中尾榮五郎(五)は警察の取調へが苛酷な事から自殺した事實あり選挙干渉問題化せんとし居る